

会議等の概要（議事録）

名 称	市民の皆さんとミーティング（地域巡回⑤）
開催日時	平成29年8月29日（火） 19:00～20:15
開催場所	市役所二ツ井町庁舎
出席者	市民参加者…14人 市長、企画部長、次長、総合政策課参事・補佐、二ツ井地域局長、総務企画課地域振興室長、総務課秘書係長・主査、地域情報課長・広報広聴係長
案 件	①市長市政報告 ②市民の皆さんとミーティング（意見交換）
概 要	<p>①市長市政報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2次能代市総合計画1次素案 ・自主防災組織・防災士について <p>②市民の皆さんとミーティング（意見交換）</p> <p>Q 1次素案の体系図に、いろいろな施策が書かれているが、具体的にどう動いていくのか教えてほしい。</p> <p>A 体系図には、施策を箇条書きで載せている。詳しくは別冊の政策説明に記載しているが、例えば二ツ井地域のまちづくりについては、地域自治区の今後のあり方の検討や、二ツ井町庁舎を活用した図書館整備などを載せている。政策説明は、この庁舎の1階に備え付けているほか、ホームページにも掲載しているのでご確認いただきたい。（企画部長）</p> <p>Q 道の駅が、平成30年の秋には完成するが、商店街と道の駅を結ぶため、町の中心部に拠点になるようなものを建設したらどうか。</p> <p>A 道の駅は手段であり目的ではない。目的は二ツ井町の活性化だ。そのためには、二ツ井の魅力をどう発信するか、中心部にどう人を誘導するかを考えなければならない。二ツ井の観光資源をどう活かしたらよいか、中心部の店の商品を道の駅で扱い実際に中心部の店に行ってもらふことや、中心部のイベントに誘い込むこと、買いたい物や見てみたいものの開発などを検討している。拠点の整備については恋文の町に関連して検討したらと思うが、必要性についてしっかり話し合う必要がある。</p> <p>Q きみまち阪に目玉がない。加護山製錬所を再現した施設を建設したらどうか。</p> <p>A 新たな施設整備の構想はないが、県と一緒に展望デッキを整備しようとしている。また、道の駅から歩いてきみまち阪に行きやすくするため、道路を整備したり、登り口のスロープを緩やかにしたりすることも検討している。</p>

Q二ツ井道の駅は、高速道路のサービスエリアの機能を持つと解釈している。利便性を考えて、ガソリンスタンドの併設を考えてほしい。物販については、地元の物だけではカバーしきれないと思うので、縁のある市町村と連携を図りながら品揃えを増やしたらどうか。また、常設の店舗を道の駅の近くに出せないか。

Aガソリンスタンドは、近くに三国商事のガソリンスタンドがあるので、そちらを使ってもらうことになる。物販は、年間を通して農産物等の商品を用意できるかが課題であり、縁のある市町村の力も借りたいと思っている。常設の店舗については、希望があれば考えていきたい。

Q公共施設で使わない施設があったら民間に貸し出したらどうか。家賃収入を修繕費にあてられる。

A貸し出せるものは貸していきたい。

Q防災士の受講料等の支援は、市民であれば誰でも受けられるようにしてもらいたい。

A了解した。

Q旧町時代に用地買収を受けたが、未登記がある。担当者に相談しているがなかなか進まない。富根地区で国土調査をしているがしっかりやってもらいたい。

A話は聞いている。市が関係したことについては対応している。国や県に関することも対応できるところについては対応している。(地域局長)

Q個人で山を持っているが、雨で道路に被害を受けている。橋が壊れたりしている。市で対応していただきたい。

A場所を確認して対応すべきところは対応する。(地域局長)

Q災害時の要援護者リストが町内会に提供されておらず、訓練に活かせない。個人情報だとは思いますが、いざというときに助けることができないので、情報提供してほしい。

A個人情報の提供は難しい。もし提供するとすれば本人の了解が必要となる。検討させてほしい。

Q簡易水道を整備していただいてありがたい。水源は地下水と思うが、夏になると水がぬるくなる。タンクに断熱材は入っていないのか。

A確認して回答する。(地域局長) →入っていない。

Q水道水の滅菌に塩素を使っているが、今後も塩素を使っていくのか。1次素案の施策に「水道を効率的に整備する」とあるが具体的に教えてほしい。

A水質基準に合わせ塩素消毒等を行っており、基準を満たした水である。施策の内容としては、経営の健全化に配慮しながら、北能代地区などまだ整備されていないところの整備を進めていくことや、適正に維持管理を行っていくことなどとしている。(企画部長)

Q私は、すべてを簡易水道に切り替えておらず、以前の地下水も使えるようにしている。簡易水道はあまり使っておらず、地下水を多く使っている。地下水がいかによいか実感している。

Aおいしい、おいしくないとの意見はあるが、赤水で水道を使えない人が多くいたのも事実で、生活の安全性や利便性向上のため水道事業を行ったこともご理解いただきたい。